令 和 ９ 年 度

秋田大学教育文化学部

編 入 学 生 募 集 要 項

出 願 期 間　令和８年 ８ 月１７日(月) ～ ８ 月２０日(木)【必着】

試　験　日　令和８年 ９ 月１６日(水)

合格者発表　令和８年１０月１４日(水)

秋田大学教育文化学部

入学者選抜の方法や日時等を変更する場合は，本学部の入試関連ウェブページでお知らせします。
災害等により不測の事態が発生した場合もウェブページを利用して情報提供を行います。
https://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/admission/ad_admi.html

令和９年度
秋田大学教育文化学部編入学試験日程

出願期間　令和８年８月 17 日（月）～８月 20 日（木）【必着】

試験日　令和８年９月 16 日（水）

合格者発表　令和８年 10 月 14 日（水）

入学手続　令和８年 11 月４日（水）～ 11 月５日（木）

入学志願者の個人情報保護について

本学では，提出された出願書類より志願者の個人情報を取得し，また，入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが，これらの個人情報は，下記の目的で利用します。

【利用目的】

○　入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。

○　入学手続完了者にあっては，入学後の学籍管理，学習指導，学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

目　　次

募集要項

１　募集人員 ・・・

秋田大学教育文化学部は学校教育課程（初等中等教育コース，特別支援教育コース，こども発達コース），地域文化学科（地域社会コース，国際文化コース，心理実践コース）の１課程１学科６コースで構成されています。

本学部の編入学生は，原則として２年次編入になります。

学校教育課程はコースごとにそれぞれ若干名を募集します。地域文化学科は一括して若干名を募集し，コースの決定は入学後に行います。

なお，こども発達コースは，入学前の取得単位状況により３年次に編入学になることがあります。ただし，入学前２年間（2025（令和７）年４月 1 日以降）に受験した TOEIC® Listening and Reading（L&R）Test または TOEIC® Listening and Reading（L&R）IP テスト（オンライン除く）において 400 点以上を取得していること。または入学時までに取得見込みであることが必要です。（本試験に合格し，編入学年次が３年次となった者でも，入学時までに取得できなかった場合は２年次への編入学となります。）

１　募集人員

２年次編入

課程・学科・コース		募　集　人　員
学校教育課程	初等中等教育コース	若　干　名
	特別支援教育コース	若　干　名
	こども発達コース	若　干　名
地域文化学科		若　干　名

２　出願資格

次のいずれかに該当する者

(1) 短期大学を卒業した者（令和９年３月までに卒業見込みの者を含む。）
(2) 高等専門学校を卒業した者（令和９年３月までに卒業見込みの者を含む。）
(3) 大学に２年以上在学し，62 単位以上を修得した者（令和９年３月までに在学および修得見込みの者を含む。）
(4) 大学を卒業した者（令和９年３月までに卒業見込みの者を含む。）
(5) 専修学校の専門課程（修業年限が２年以上で，かつ，課程の修了に必要な総授業時数が 1,700 時間以上であるもの）を修了した者および令和９年３月修了見込みの者（いずれも学校教育法第 90 条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
(6) 外国において学校教育における 14 年の課程を修了した者（令和９年３月までに修了見込みの者を含む。）

※ 出願資格のうち，令和９年３月までに所定の要件を満たす見込みで受験した合格者が，入学までに所定の要件を満たすことができなかった場合は，入学許可を取り消します。

３　出願手続

(1) 出願期間　　**令和８年８月１７日（月）～ ８月２０日（木）17：00（必着）**

出願書類の提出は，「速達簡易書留」による郵送とし，８月 20 日（木）17：00 必着とします。

郵送期間を十分考慮して送付してください。

(2) 出願方法

次の書類等を一括し，本要項に添付されている出願用封筒に入れて提出してください。

①入学志願票	本学所定の用紙（本要項とじ込み）に，所要事項を記入してください。　注）
②受験票・写真票	本学所定の用紙に所要事項を記入し，出願前３か月以内に撮影した写真（たて4cm×よこ3cm）を，所定欄に貼付してください。
③検定料	検定料は30,000円です。 以下の秋田大学オンライン決済システムから必要事項を入力のうえ，お支払いください。（株式会社キャリタスの決済システムに移動します。） https://e-apply.jp/ds/akita-u-oln/public/login ※初回利用時に「ゲストユーザー登録」をお願いします。 ※支払い後にマイページの決裁履歴から「領収書」を印刷のうえ，出願書類と共に送付してください。 ※払い込み手数料については受験者にて負担願います。 原則として令和8年8月3日（月）以降出願前までに振り込んでください。上記システムが利用できない場合は，至急秋田大学入試課教育文化担当（電話：018-889-2507）まで連絡をしてください。 出願手続完了後は，いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。 ただし，検定料の払込後に出願しなかった場合は，検定料を返還しますので，原則として令和8年8月21日（金）から8月27日（木）までの間に，秋田大学経理・調達課出納担当（Tel 018-889-2234，受付時間9:00～17:00（土・日・祝を除きます））に申し出てください。
④成績証明書	出身または在学の学長もしくは学部長等が証明し厳封したもの。 在学中の方は，出願時点での成績証明書を提出してください。
⑤卒業(見込)証明書 または在学証明書	大学，短期大学または高等専門学校を卒業した者は「卒業証明書」を，令和９年３月までに大学，短期大学または高等専門学校を卒業見込みの者は「卒業見込証明書」を提出してください。 出願資格(3)により出願する者で在学中の者は，入学年月日が記入された「在学証明書」を提出してください。
⑥入学志望理由書	本学所定の用紙（本要項とじ込み）に，志願者本人が記入してください。
⑦あて名票	本学所定の用紙に，志願者の郵便番号，住所および氏名を記入してください。
⑧受験票等送付用封筒	本学所定の封筒に志願者の郵便番号，住所および氏名を明記し，410円分の切手を貼付してください。
⑨在留資格が明記された住民票	日本以外の国籍を持つ者は，市区町村長の発行する「在留資格の明記された住民票」（個人番号の記載がないもの）を提出してください。

注）・学校教育課程初等中等教育コース志望者は，志願票に入学後希望する専門領域（教科等）を記入してください。専門領域（教科等）は，次のとおりです。

国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，家庭，英語

なお，専門領域（教科等）の決定は，本人の希望およびこれまでの学習状況に基づいて，入学後に行います。

(3) 出願書類の提出先

秋田大学入試課教育文化担当　　〒010-8502　秋田市手形学園町１番１号

(4) 出願についての留意事項

① 出願書類に不備がある場合は，受理しません。

② 受理した出願書類の返還および記載事項の変更は認めません。

③ 出願手続等に不正の事実があった場合は，入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。

４　選抜方法

学力検査および面接の結果を総合して判定します。

なお，成績証明書および入学志望理由書は面接にて活用します。

(1) 学力検査科目等

課程・学科	基礎的科目	専門教育科目	その他
学校教育課程	英語	小論文	面接
地域文化学科			

(2) 配点

課程・学科	基礎的科目	専門教育科目	面接
学校教育課程	１００点	２００点	１００点
地域文化学科			

(3) 選抜日程　**令和８年９月 16 日(水)**

課程・学科	基礎的科目	専門教育科目	面　接
学校教育課程	9：00～10：00	10：30～12：30	13：30～17：00
地域文化学科			

※　面接の終了時刻は受験者数により変わる場合があります。

(4) 試験場

秋田大学教育文化学部　秋田市手形学園町１番１号

(5) 受験上の注意事項

① 試験室ではすべて試験監督者の指示に従ってください。

② 試験室では，受験票，黒鉛筆，鉛筆キャップ，シャープペンシル，消しゴム，鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。），定規，時計（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能の有無が判明しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。），メガネ，目薬，ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけを取り出したもの）以外の物は机上に置くことはできません。

③ 携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）等の電子機器類を持参した場合は，試験室に入る前に電源を切り，かばん等に入れておいてください。
試験時間中，かばん等にしまわず，身につけていたり手に持っていた場合は不正行為となることがあります。

④ 試験当日の入棟開始時刻は 8 時 10 分です。8 時 40 分までに試験室に入室してください。遅刻限度は試験開始後 10 分までとします。

⑤ 試験時間中の答案提出は，原則として認めません。

⑥ 試験当日に体調の悪い方，家族や身近に感染症に罹患している人がいる方などは，感染対策としてマスクの着用を推奨いたします。

５　感染症に関する注意事項

学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症に罹患した場合は，他の受験者等への感染拡大防止の面から，学校保健安全法に準じた取り扱いとし，試験当日までに治癒していない方および出席停止期間を経過していない方は，感染症の種類により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた場合を除き，原則として受験を認めません。

なお，感染症の拡大等により，上記によらず急遽変更する場合は，本学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）にて連絡します。

６　配慮を必要とする入学志願者の事前相談

病気・負傷，身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下，「障害等」という。）により，受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は，出願に先立ち，本学所定の様式に必要事項を記入の上，医師の診断書等を添えて，指定された期限までに入試課教育文化担当に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により，受験上の配慮が必要となった場合には，速やかに相談してください。

また，障害等の程度によっては，事前の準備が必要となる場合がありますので，本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき，進路決定等により特別措置が不要となった場合には，その旨入試課教育文化担当までお知らせください。

なお，事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

(1) 事前相談の期限　　令和８年７月 31 日(金)まで

(2) 相談先　　秋田大学入試課教育文化担当

〒010-8502　秋田市手形学園町１番１号

電話　018-889-2507　　Ｅメールアドレス　nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

７　合格者の発表

令和８年 10 月 14 日(水) 15 時（予定）

秋田大学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/admission）に合格者の受験番号を掲載するとともに，合格者には「合格通知書」を郵送します。(編入学後の年次等は，合格通知書に明記します。)

注）電話等による問い合わせには一切応じません。

８　入学手続

合格者には，入学手続関係書類を送付しますので，下記により入学手続きをしてください。

(1) 入学手続期間　　**令和８年 11 月４日(水)～ 11 月５日(木)　(必着)**

(2) 納付金

① 入学料　　282,000 円（予定額）

② 授業料　　（前期分）　267,900 円（予定額）

（年　額）　535,800 円（予定額）

③ 入学料・授業料は高等教育の修学支援新制度に基づいて免除される制度があります（高等教育の修学支援新制度については，文部科学省および日本学生支援機構のホームページを参照してください。）。また，経済的理由等により期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合には，選考の上，猶予が認められる制度があります。(詳細は入学手続関係書類でお知らせします。)

注 1)　上記納付金は予定額であり，入学時または在学中に改定が行われた場合には，改定時から新たな納付金額が適用されます。

2)　入学料は，入学手続時に納入してください。

3)　納付した入学料は，いかなる理由があっても返還しません。

９　個人の入試成績の開示

受験者の入試成績を次により本人に開示します。

(1) 開示内容

学力検査および面接の得点，順位（Ａ，Ｂ，Ｃ等のランク区分で開示します。ただし，合格者(不合格者）が 3 名未満の場合は開示しません。）

(2) 申込期間

令和９年５月６日(木)～令和９年５月 31 日(月)　必着

(3) 申込者

受験者本人に限ります（代理人は不可)。

(4) 申込方法

郵送で受け付けます。次の書類等により申し込んでください。

・受験票

・入試成績開示申込書（様式任意）

※Ａ４の用紙に申込年月日，氏名，郵便番号・住所・電話番号，受験番号を受験者本人が記載したもの

・入試成績送付用封筒（長形３号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し，簡易書留 460 円分の切手を貼ったもの)

(5) 申込先

秋田大学入試課教育文化担当

〒010-8502　秋田市手形学園町１番１号　　電話　018-889-2507

(6) 開示方法

申込みが受理されてから 10 日以内に，受験者本人あて簡易書留郵便で送付します。

10　その他

(1) 募集要項の請求

封筒のおもてに「**教育文化学部編入学生募集要項請求**」と**朱書き**してください。返信用封筒（角形２号封筒（33.2cm×24.0cm）に受信者の郵便番号，住所および氏名を明記のうえ，切手（320 円分，速達を希望する場合は 620 円分）を貼付したもの）を同封してください。

(2) 過去問題について

過去２年の間に出題された入試問題を公開しています。ただし，著作権の関係で省略となっている箇所がございます。なお，受験者がいなかった学科・コース・選択科目については公開しておりません。

＜過去問題の請求方法＞

封筒のおもてに「教育文化学部編入学試験過去問題請求」と朱書きし，下記宛先に次の書類等により郵送にて申し込んでください。

① 任意の用紙に次の事項を記載したもの

希望する課程または学科・コース名，請求者の氏名，電話番号

② 返信用封筒

角形２号封筒(33.2cm×24.0cm)の表に受信者の郵便番号、住所、氏名を明記し，切手(320 円分)を貼付してください。

なお，複数の課程・学科・コースの過去問題を請求する場合や，募集要項を併せて請求する場合は 510 円分の切手を貼付してください。郵便料金不足の場合は不足分着払いとして郵送します。

11　入学試験に関する問い合わせ

秋田大学入試課教育文化担当　〒010-8502　秋田市手形学園町１番１号

電話　018-889-2507

Ｅメールアドレス　nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

ホームページ　https://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/admission/ad_admi.html

教育文化学部アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

◆育てる人間像

教育文化学部では人間存在をめぐる現代的課題を総合的に探究し，教員および新たな生活文化の創造を担う人材を育成します。

［学校教育課程］

●求める人物像

多様な教育的諸課題に対処できるように，豊かな人間性と専門的知識・技能，幅広い教養を基盤とする実践的な指導力を備えた教員を目指す強い意志のある人を求めています。

〈初等中等教育コース〉

●求める人物像

1．学校の教員として働こうとする強い意志のある人
2．児童・生徒に対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3．小学校の全教科等に関する幅広い理解と一つ以上の教科（国語，社会，数学，理科，英語，家庭，音楽，美術，保健体育）における高い専門性によって，学校教育のさまざまな課題に積極的に取り組もうとする意欲のある人

※入学前までに修得すべき具体的な内容

国　　語－国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
数　　学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度
理　　科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観
英　　語－言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
保健体育・芸術－実技実践能力を養うために求められる知識，技能や表現力
情　　報－情報に関する科学的な見方・考え方の理解と，問題の発見解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する能力，情報社会に主体的に参加するための資質・能力

●入学者選抜の基本方針

十分な基礎学力を持ち，学校教育を広い視野から論理的・実践的に学ぶための能力を備えた人を求めます。

そのため，学力検査（基礎的科目，専門教育科目）および面接を課し，本コースで学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《編入学試験における重点評価項目》

入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性と多様な人々との協働性	
		思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
学力検査（基礎的科目）	○	○	○		
学力検査（専門教育科目）	○	○	○		
面接	○	○	○	○	○

〈特別支援教育コース〉

●求める人物像

１．特別支援学校や小学校・中学校等で働くことを強く希望する人

２．障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人

３．特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

※入学前までに修得すべき具体的な内容

国　　語－国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度

地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質

数　　学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度

理　　科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

英　　語－言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力

情　　報－情報に関する科学的な見方・考え方の理解と，問題の発見解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する能力，情報社会に主体的に参加するための資質・能力

●入学者選抜の基本方針

十分な基礎学力と読解，表現，論理的思考に十分な能力および特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため，学力検査（基礎的科目，専門教育科目）および面接を課し，本コースで学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《編入学試験における重点評価項目》

入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性と多様な人々との協働性	
		思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
学力検査（基礎的科目）	○	○	○		
学力検査（専門教育科目）	○	○	○		
面接	○	○	○	○	○

〈こども発達コース〉

●求める人物像

１．幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わることを強く希望する人

２．子どもに対する理解と教育・保育に強い情熱を持つ人

３．乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や，子どもへの発達支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

※入学前までに修得すべき具体的な内容

国　　語－国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度

地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質

数　　学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度

理　　科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と　態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

英　　語－言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力

情　　報－情報に関する科学的な見方・考え方の理解と，問題の発見解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する能力，情報社会に主体的に参加するための資質・能力

●入学者選抜の基本方針

十分な基礎学力を持ち，読解，表現，論理的思考に十分な能力を有するとともに，本コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため，学力検査（基礎的科目，専門教育科目）および面接を課し，本コースで学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《編入学試験における重点評価項目》

入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性と多様な人々との協働性	
		思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
学力検査（基礎的科目）	○	○	○		
学力検査（専門教育科目）	○	○	○		
面接	○	○	○	○	○

［地域文化学科］

●求める人物像

１．地域社会の将来を展望し，行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人

２．地域の抱えるさまざまな問題に対して，人文・社会科学や生活科学，自然科学，情報科学，心理学の総合的な成果を踏まえて分析し，これに実践的に応えていこうという意欲のある人

３．地域の特性・伝統を理解しながら，日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し，学業で得た知識・経験を積極的に活用し，地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人

４．地域情報を世界に向けて発信し，世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人

※入学前までに修得すべき具体的な内容

国　　語－国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度

地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質

数　　学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度

理　　科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

英　　語－言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力

情　　報－情報に関する科学的な見方・考え方にもとづいて，情報モラルに留意しながら問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する能力，情報社会に主体的に参画する態度

●入学者選抜の基本方針

高等学校等修了時までに修得した学力に基づき，大学（２年以上在学）またはこれに相当する機関等での勉学を通して読解力や語学力，論理的思考能力を意欲的に高めてきた人を求めます。

そのため，学力検査として基礎的科目（英語）と専門教育科目（小論文），および面接を課し，本学科で学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《編入学試験における重点評価項目》

入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性と多様な人々との協働性	
		思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
学力検査（基礎的科目）	○	○	○		
学力検査（専門教育科目）	○	○	○		
面接	○	○	○	○	○

【参考１】 各コースの特色

学校教育課程	**初等中等教育コース**	小学校教員養成および中学校教員養成を行い小中連携に対応できるとともに，子どもの心身の成長発達についての理解を深め，全国トップクラスの学力を支える高度な実践力を持った教員を養成します。国語・社会・数学（算数）・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・英語の各教科を自由に選択して学ぶことができます。
	特別支援教育コース	特別支援学校および小・中学校等で特別支援教育を担うとともに，インクルーシブな環境で，発達の特性や特別なニーズに対応した支援を実践できる教員を養成します。
	こども発達コース	幼稚園や保育所の教員・保育士と小学校教員の養成を主とし，幼保小連携に対応できるとともに，人間の生涯にわたる発達過程や，幼児教育・保育と学校教育の全課程を見通しながら省察できる教員を養成します。
地域文化学科	**地域社会コース**	法学，政治学，経済学，経営学，社会学などの社会科学を主軸にしながら，地理学，環境科学，食健康学，住環境学や情報科学も併せて学べます。さらに講義・演習・野外実習などの授業を通じて得る知識や技能を用いて，地域社会を統合的かつ多角的にとらえる能力の取得を目指します。
	国際文化コース	日本を含むアジアと欧米の言語・文化について，言語学・文学・歴史学・哲学・芸術学などの人文科学的な視座から学ぶことができます。体系的な外国語修得プログラム（英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・朝鮮語）や海外研修も活用しながら，国際社会の多様なあり方を幅広く理解した上で，その知見を地域に活かす能力の修得を目指します。
	心理実践コース	心理学に必要な理論や実践，統計法，面接法などについて，基礎から応用までを体系的に学べます。さらに学んだ知識や技能を用いて，地域の問題や課題を考え，様々な活動や調査研究への活用を目指します。 本カリキュラムは認定心理士の資格認定や公認心理師の受験資格に対応しており，大学院に進学することで臨床心理士，公認心理師の受験資格が得られます。

【参考２】 学校教育課程で取得可能な教員免許状

◎必須（卒業要件）　○可能

コース		小学校教諭1種	中学校教諭1種	小学校教諭2種	中学校教諭2種	高等学校教諭1種	特別支援学校教諭1種	幼稚園教諭1種
初等中等教育コース	パターン1（小学校１種を主免 中学校１種を副免）	◎	◎ (国, 社, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)			○ (国, 地歴, 公民, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	○	○
	パターン2（小学校１種を主免 中学校２種を副免）	◎			◎ (国, 社, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	○ (国, 地歴, 公民, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	○	○
	パターン3（中学校１種を主免 小学校2種を副免）	○	◎ 英語，数学，理科	◎		○ 英語，数学，理科	○	○
	パターン4（中学校１種を主免 小学校１種を副免）	◎	◎ 英語，数学，理科			○ 英語，数学，理科	○	○
特別支援教育コース		◎ どちらか		○	○ (国, 社, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	○ (国, 地歴, 公民, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	◎	○
こども発達コース※		◎	○ (国, 社, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)		○ (国, 社, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	○ (国, 地歴, 公民, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	○	○

※　こども発達コースの編入学生は小学校１種を主免とするコースのみになります。
　　編入学生は保育士資格の取得はできません。

【参考３】 教員免許等の取得を目指す入学志願者のみなさんへ

心と身体を守るため 2026 年 12 月 25 日から「こども性暴力防止法」が施行されます。これに伴い，教育実習等を行う学生についても，法律施行後は実習を行う前に，法に基づく性犯罪に関する確認が行われる可能性があります。この手続きを通じて特定性犯罪前科が確認された場合は児童等に接する実習を行うことができず，教員免許等の取得要件を満たすことができなくなる場合があります。詳細はこども家庭庁のサイトをご確認ください。

○こども家庭庁ＨＰ「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」

リンク：https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou

秋田大学教育文化学部
案　内　図

●秋田駅前（西口）バスのりば12番から
　秋田中央交通バス手形山大学病院線
　秋田大学前下車・徒歩約１分

●秋田駅東口から秋田大学まで
　徒歩約15分（約1,300ｍ）